

# 第1章 平成29年度 事業評価表

- 1 企画部
- 2 総務部
- 3 市民部
- 4 生活環境部
- 5 スポーツと文化部
- 6 健康福祉部
- 7 子ども政策部
- 8 都市整備部
- 9 教育部

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	『第4次三鷹市基本計画（第1次改定）』等の協働による推進	個別事業掲載No	企 — 1
-----	------------------------------	----------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>平成29年度は『第4次三鷹市基本計画（第1次改定）』の中期計画期間（平成27～30年度）の3年目となることから、中期計画期間の目標達成に向け、着実に事業を推進していくため、経営本部体制のもと、庁内等横断的な連携と総合調整を行い、積極的な事業展開を図る。『まち・ひと・しごと創生総合戦略』については、推進会議において事業の評価・検証や今後の取り組みの方向性などを議論し、親の妊娠期から出産・子育て期の希望を叶えるまちづくり等基本目標の実現に向けた取り組みを充実させる。『教育に関する大綱』の推進にあたっては、総合教育会議を開催し、事業報告や事業展開について情報共有と意見交換を行い、教育、子ども、芸術文化、生涯学習、スポーツに関する施策を総合的に推進する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『第4次三鷹市基本計画（第1次改定）』の着実な推進</li> <li>まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の開催（年2回）</li> <li>総合教育会議（年2回）による教育委員会と市長部局の一層の連携</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		○総合戦略推進会議 ○総合教育会議						○総合戦略推進会議 ○総合教育会議					
事業の成果（目標）	『まち・ひと・しごと創生総合戦略』及び『教育に関する大綱』は、『第4次三鷹市基本計画（第1次改定）』に含めて策定している。したがって、『第4次三鷹市基本計画（第1次改定）』の最重点プロジェクトである「都市再生」と「コミュニティ創生」を中心に、計画に掲げる施策を着実に推進することで、「参加と協働のまちづくり」を推進を目指す。												

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>経営本部体制のもと、プロジェクトチーム、庁内横断的な事業の推進にあたり、庁内の総合調整を図った。</p> <p>「平成29年度第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」を8月21日に開催し、平成28年度事業の評価・検証を行うとともに、今後の取り組みの方向性について議論を行った。また、「平成29年度第1回総合教育会議」を8月1日に開催し、平成28年度の取り組みの振り返りと29年度事業の状況について、教育委員会との情報共有及び意見交換を行った。</p>												
	事業評価審査会特記意見							<p>政策会議 評価・意見等</p> <p>重点事業とする。 RESAS等のビッグデータの活用については、広く職員が活用できるよう能力の向上に取り組むこと。また、人口の将来推計については精度を高めること。</p>						
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>『第4次三鷹市基本計画（第1次改定）』の着実な推進</li> <li>まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の開催（8/21、3/29）</li> <li>総合教育会議（8/1、12/20）による教育委員会と市長部局の一層の連携</li> </ul>												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		○総合戦略推進会議 ○総合教育会議						総合戦略推進会議○ ○総合教育会議						
	事業の成果（実績）	最重点プロジェクトである「都市再生」と「コミュニティ創生」を中心に、『第4次三鷹市基本計画（第1次改定）』に掲げる施策を着実に実施したことで、『まち・ひと・しごと創生総合戦略』や『教育に関する大綱』も合わせて推進することができた。												
	事業の総括（主管課）	<p>翌年度（平成30年度）は『第4次三鷹市基本計画（第1次改定）』の計画中期の最終年度に当たることから、計画中期における目標達成を見据え、経営本部体制のもと、庁内等横断的な連携と総合調整を行い、最重点プロジェクトである「都市再生」と「コミュニティ創生」を中心に着実に事業を推進した。『まち・ひと・しごと創生総合戦略』については、地方創生推進交付金を活用した「三鷹版働き方改革応援プロジェクト」を中心に、これまで取り組んだ事業の評価・検証や、今後の取り組みの方向性などを議論した。また、平成30年度には、総合戦略で定めた基本目標の達成状況について市民意向調査を行う予定だが、どのような調査を行うことで、より効果的な検証ができるかを議論した。『教育に関する大綱』の推進にあたっては、子ども本位の教育を実践していくため、総合教育会議において、「コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育」の充実と発展や、学校教職員のライフ・ワーク・バランスの推進などを中心に、意見交換を行った。</p>												
事業評価審査会評価・意見等							予算執行	29年度当初		29年度実績				
							予算額	357千円		357千円				
							決算額			274千円				
							執行率（%）			76.8%				
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		持続可能な自治体経営をめざした行財政改革の推進										個別事業 掲載No	企 — 2		
当初計画	【事業概要】 「新・行財政改革アクションプラン2022」に基づき、行財政改革に取り組むとともに、職員提案制度を通じて提案された案件を含め「対話による創造的的事业改善」による事業見直しを実施する。また、部内において庁内会議等の効率的な運営などモデル的な取り組みを試行するとともに、全庁的な実践とするためガイドライン等の策定に取り組む。 新地方公会計制度については、総務省の「統一的な基準」に基づく28年度決算の財務書類を作成・公表し、資産・負債などのストック情報を一覧的にとりまとめ、効率的な財政運営に繋げていく。また、次年度以降の円滑な運用に向けて、固定資産台帳の更新及び運用マニュアルの整備に取り組む。 【事業概要】 ・職員提案募集の実施 ・対話による創造的的事业改善 ・庁内会議運営ガイドライン（仮称）に基づく試行（部内・通年） ＜新地方公会計制度＞ 固定資産台帳の更新及び運用マニュアルの作成、「統一的な基準」に基づく財務書類の作成・公表														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
		新・行財政改革アクションプラン2022の推進													
		・新たな職員提案制度の実施・対話						・ガイドラインの策定							
事業の成果 (目標)	・新たな事業見直し 10件程度 ・庁内会議運営ガイドライン（仮称）の策定 ＜新地方公会計制度＞ ・総務省の「統一的な基準」に基づく28年度決算財務書類の作成・公表 ・固定資産台帳の更新及び運用マニュアルの作成														
	台帳更新マニュアル（仮称）の作成 ○財務書類の公表														
中間評価	上半期の 実績・課題等	提案様式等を簡素化した職員提案制度を実施し、延べ52件の応募を受けた。また、行政評価支援システムにおけるセルフチェックの際、各事業において所管課が抱える課題等が把握できるようシステムに軽微な改修を加え、22件の事業を見直し対象として抽出した。これら対象事業（74件）について各所管部及び理事者協議を経て22件を「対話による創造的的事业改善」の候補とした。 新地方公会計制度については、平成28年度に作成した固定資産台帳を更新するとともに、期末一括仕訳（勘定仕訳）などの作業に取り組んだ。なお、関係団体の財務書類の作成時期を踏まえ、12月に公表する財務書類は三鷹市全体のものとし、関係団体を加えた連結財務書類の公表は平成30年3月を目指して取り組みを進める。													
	事業評価 審査会 特記意見											政策会議 評価・意見等	重点事業とする。		
	主管課評価	1	事業評価審査会評価 1										1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする		
事後評価	実績	・新たな職員提案制度の設計・実施 ・庁内会議運営ガイドライン（仮称）に基づく試行（部内・1～3月） ・「対話による創造的的事业改善」の実施 ・固定資産台帳の更新 ・財務書類（貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書）の作成													
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
		・新たな職員提案制度の実施						・対話						・政策会議	
		○財務書類（三鷹市全体）の作成 財務書類（連結）の作成・公表○													
	事業の成果 (実績)	・職員提案募集の実施（30人、52件の応募） ・対話による創造的的事业改善（22件実施） ・庁内会議運営ガイドライン（仮称）に基づく試行（部内・1～3月） ・固定資産台帳の更新、公表 ・財務書類（平成28年度末）の作成、公表													
事業の総括 (主管課)	新地方公会計制度については、平成28年度中の資産増減を固定資産台帳に反映するとともに、期末一括仕訳（勘定仕訳）などの作業を行い、11月に三鷹市全体の財務書類（速報版）を作成した。また、3月には関係団体を加えた連結財務書類を作成し、固定資産台帳とあわせて公表を行った。 職員提案制度について、職員の日頃の「気づき」や「アイデア」を業務改善等へ活かすため、様式の簡素化など所要の制度改正を行った結果、30人から延べ52件の応募があった。各提案について精査のうえ、14件を「対話による創造的的事业改善」の取組みのなかで所管部等と協議を行い、うち10件を事業化に結びつけた。また、行政評価支援システムのセルフチェック機能を活用し、所管部自らの課題認識から事業見直しの対象事業を抽出し、8件を対象に「対話による創造的的事业改善」の取組みを実施し、次年度予算編成に反映した。庁内会議運営ガイドライン（仮称）については、部内において試行的に実施し、次年度に向けた取組みの検討を行った。														
事業評価 審査会 評価・意見等		予算 執行					29年度当初				29年度実績				
			予算額	1,500千円				1,500千円							
主管課評価	1	事業評価審査会評価 1	決算額					1,296千円							
			執行率(%)					86.4%							
S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）															

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		市庁舎等の建替えをはじめとした都市再生の推進										個別事業 掲載No	企 — 3																									
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>市庁舎等の建替えについて、三鷹まちづくり総合研究所の最終報告書（平成29年6月予定）を踏まえ、市として新庁舎整備に向けた基本構想の策定に着手する。策定に当たっては、ワークショップ等市民参加を実施し市民の意見を反映するとともに、利用しやすい庁内環境の整備に向け、執務環境を含む庁舎等利用環境調査に取り組む。また、元気創造プラザに集約した旧施設の解体工事を実施する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想策定に向けた委託業務</li> <li>庁舎等利用環境調査業務</li> <li>ワークショップの実施</li> <li>元気創造プラザに集約した旧施設の解体工事</li> </ul>																																				
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																									
	事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想策定に向けたワークショップ等市民参加を実施し市民の意見を反映</li> <li>庁舎等利用環境調査業務の着手</li> <li>元気創造プラザに集約した旧施設の解体工事の完了</li> </ul>																																				
	スケジュール	<p>三鷹まちづくり総合研究所 → ○最終報告書</p> <p>基本構想策定支援業務</p> <p>庁舎等執務環境調査</p> <p>○まちづくりワークショップ</p> <p>旧三鷹市福祉会館及び第一体育館等解体工事 →</p> <p>旧三鷹市社会教育会館解体工事 →</p>																																				
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>市庁舎の建替えについて、平成29年6月に三鷹まちづくり総合研究所より最終報告書の提言を受けたことから、8月に「庁舎等整備基本構想策定に向けた基本的な考え方」を策定した。また、新庁舎整備に関する市民の意向を確認するため、市民意向調査業務に着手した。さらに、元気創造プラザに集約した旧施設の解体工事については、7月から着手している。</p> <p>下半期については、基本構想策定に向けて、まちづくりディスカッションなど市民参加を実施するとともに、市民センター敷地の現況調査や庁舎等執務環境調査を行っていく。</p>																																				
	事業評価審査会特記意見	<p>政策会議 評価・意見等</p> <p>重点事業とする。</p>																																				
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする																																	
事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想策定支援業務の着手（平成30年1月）</li> <li>庁舎利用環境調査の着手（平成29年12月）</li> <li>みたかまちづくりディスカッションの実施（平成30年2月）</li> <li>旧三鷹市福祉会館及び第一体育館等解体工事の完了（平成30年1月）</li> <li>旧三鷹市社会教育会館解体工事の着手（平成29年7月）</li> </ul>																																				
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																									
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>「市民意向調査」（平成29年10～11月）及び「みたかまちづくりディスカッション」（平成30年2月）の実施</li> <li>庁舎利用環境調査の着手（平成29年12月）</li> <li>旧三鷹市福祉会館及び第一体育館等解体工事の完了（平成30年1月）</li> <li>旧三鷹市社会教育会館解体工事の着手（平成29年7月）</li> </ul>																																				
	事業の総括（主管課）	<p>基本構想策定に向けた市民参加の取り組みとして「市民意向調査」「みたかまちづくりディスカッション」を実施した。また、配置計画の検討を行う上での基礎情報となる敷地現況調査や庁舎利用環境調査も行った。</p> <p>元気創造プラザに集約後の旧施設である旧福祉会館及び第一体育館については平成30年1月に解体工事が完了した。旧社会教育会館については、平成29年7月から工事に着手しているが、騒音・振動の低減など近隣住民への配慮を行いながら進めていること等から、工事期間を平成30年5月まで延長した。</p>																																				
	事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">予算執行</th> <th colspan="3">29年度当初</th> <th colspan="3">29年度実績</th> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>420,204千円</td> <td></td> <td>422,473千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td></td> <td></td> <td>335,349千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>79.4%</td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>												予算執行	29年度当初			29年度実績			予算額	420,204千円		422,473千円			決算額			335,349千円			執行率（%）				79.4%	
予算執行	29年度当初			29年度実績																																		
	予算額	420,204千円		422,473千円																																		
	決算額			335,349千円																																		
執行率（%）				79.4%																																		
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																																		

平成29年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	「債権管理条例（仮称）」の制定に向けた取り組み	個別事業 掲載No	企 — 4
-----	-------------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>市が保有する債権管理に関する基本的な考え方をとりまとめ、事務処理の基本ルール等を明確にするとともに、平成23～25年度の「債権管理・回収検討プロジェクト・チーム」での検討結果等を踏まえ、「三鷹市債権管理条例（仮称）」の提案を行う。これにより、更なる債権管理の適正化を図ることで、歳入の安定的な確保、債務者間の負担の公平性の実現に取り組むことに加え、これまでと同様に、債務者（市民等）の置かれている状況を踏まえた債権管理を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政視察 ・ 「債権管理に関する基本的な考え方」のとりまとめ</li> <li>「三鷹市債権管理条例（仮称）」原案の提案（12月議会）</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<p>全庁アンケートの実施により、各市債権における管理の実態を把握する。また、三鷹市における「債権管理に関する基本的な考え方」をとりまとめるとともに、「三鷹市債権管理条例（仮称）」原案を提案（12月議会）する。</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	平成29年4月に行政視察（国立市）を行うとともに、全庁アンケートにより、平成28年度末時点の収入未済額及び債権管理に係る業務実態等を把握した。また、三鷹市における「債権管理に関する基本的な考え方」をとりまとめ、行政報告（9月議会）を行った。											
	事業評価審査会特記意見	重点事業とする。											
	政策会議評価・意見等												
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする									

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政視察の実施 ・ 庁内アンケートの実施 ・ 基本的な考え方の作成</li> <li>条例案、施行規則案の作成 ・ 債権分類の検討</li> </ul>																																																											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>国立市への行政視察（4/28）</li> <li>庁内アンケートによる各債権管理の現状把握</li> <li>条例制定に向けた基本的な考え方の作成</li> <li>条例（案）、施行規則（案）を作成し、12月議会に原案提出・可決（議案第71号「三鷹市の適正な債権管理の推進に関する条例」平成29年12月21日原案可決）</li> <li>各債権における債権区分や時効年数などの検討</li> </ul>																																																											
	事業の総括（主管課）	<p>全庁アンケートにより債権管理に係る業務実態等を把握するなど、条例制定に向けて準備を進めた。また、9月議会で「債権管理に関する基本的な考え方」について行政報告を行い、12月議会に「三鷹市の適正な債権管理の推進に関する条例」の議案を提出し、平成29年12月21日に原案可決された。さらに、平成30年度からの条例の趣旨の普及と定着に向けて検討を進めた。</p>																																																											
	事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">予算執行</td> <td colspan="6">29年度当初</td> <td colspan="6">29年度実績</td> </tr> <tr> <td colspan="6">0千円</td> <td colspan="6">0千円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">0千円</td> <td colspan="6">0千円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">執行率（%）</td> <td colspan="6">-</td> </tr> </table>												予算執行	29年度当初						29年度実績						0千円						0千円						0千円						0千円						執行率（%）						-				
予算執行	29年度当初						29年度実績																																																						
	0千円						0千円																																																						
	0千円						0千円																																																						
執行率（%）						-																																																							
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																																																									



平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	「三鷹版 働き方改革応援プロジェクト」の推進によるライフ・ワーク・バランス社会の実現	個別事業掲載No	企 — 5
-----	--	----------	-------

当初計画	【事業概要】 平成28年度に実施した「市内企業・事業所および従業員のライフ・ワーク・バランスに関する意識・実態調査」の結果を踏まえ、市内モデル企業・事業所に働き方改革支援者を派遣するモデル事業を実施する。さらにその成果を検証し、企業・事業所が自主的にライフ・ワーク・バランスを推進する仕組みづくりについて検討する。 また、働き方改革応援セミナーの実施や啓発を通じ、市内企業・事業所の事業主、従業者、市民のライフ・ワーク・バランス意識を醸成し、自分らしい生き方や様々な働き方を選択できる社会の実現を目指す。 【事業量】 ・「三鷹版 働き方改革応援セミナー」の開催：経営者向け、従業員向け各1回 支援者向け連続講座 ・市内モデル企業・事業所への働き方改革支援者の派遣
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 経営者向けセミナー○ ○従業員向けセミナー ○支援者養成研修 ○支援者養成研修 ○支援者養成研修 ○働き方改革モデル企業への支援者派遣開始 働き方改革モデル企業による実績報告会○
	事業の成果(目標) ・「三鷹版 働き方改革応援セミナー」の参加者数：延べ100人 ・市内モデル企業・事業所への働き方改革支援者の派遣：10社 ・モデル企業による実績報告：4社

中間評価	上半期の実績・課題等 市内モデル企業・事業所の選定を行い、アドバイザー・支援者・市による連絡調整会議と支援者派遣を開始した。 下半期も引き続き連絡調整会議、支援者派遣を実施する。2月（予定）にはモデル企業による事例発表・報告会を開催する。
	事業評価審査会特記意見 ライフ・ワーク・バランスの推進効果が広く市内に波及するよう、事業者等が連携して取組みを推進することが望ましい。 政策会議評価・意見等 重点事業とする。 企業・事業所によるライフ・ワーク・バランスが将来的に自立的に推進される仕組みづくりを検討すること。
	主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績 ・「三鷹版 働き方改革応援セミナー」の開催：経営者向け(3/26モデル企業取組事例の中で実施)、従業員向け(3/17) ・支援者向け連続講座（2回目から名称を働き方改革連絡調整会議へ変更し実施、8/28、10/23、12/12、1/23、2/20） ・市内モデル企業・事業所への働き方改革支援者の派遣（9社各5回）
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○支援者養成研修 働き方改革モデル企業取組事例発表会・経営者向けセミナー○ ○働き方改革モデル企業への支援者派遣開始 従業員向け ○連絡調整会議 ○連絡調整会議 ○連絡調整会議 ○連絡調整会議
	事業の成果(実績) ・「三鷹版 働き方改革応援セミナー」の参加者数：延べ79人 ・市内モデル企業・事業所への働き方改革支援者の派遣：9社 ・モデル企業による取組事例の発表：9社
	事業の総括(主管課) 市内企業・事業所から9社に働き方改革モデル企業となっただき、働き方改革支援者（社会保険労務士）を派遣し、各社の実情に合わせた働き方改革に取り組んでいただいた。モデル企業選定に時間を要し、開始が遅れたが、3月26日には「三鷹版 働き方改革モデル企業取組事例発表会」を開催し、第1部においてモデル企業全社からその事例や成果を発表いただき、62人の来場があった。 また、3月17日に実施した「三鷹版 働き方改革応援セミナー」（従業員向け）には25人、3月26日に実施した「三鷹版 働き方改革モデル企業取組事例発表会」の第2部に行った経営者向けセミナーには54人の参加があり、ライフ・ワーク・バランス推進の啓発に努めることができた。
	事業評価審査会評価・意見等 企業等における自立的・継続的な取組みとなるよう、参加企業の規模や業種等に合せた事業設計となるよう検討を行うことが望ましい。 予算執行 29年度当初 29年度実績 予算額 1,812千円 1,812千円 決算額 1,500千円 執行率(%) 82.8%
主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)	

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		ICT環境の整備及び利活用の推進と情報セキュリティ対策の一層の充実										個別事業掲載No	企 — 6															
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 地域情報化プラン2022（第1次改定）に基づき、ICTを利活用した安全安心な地域社会の実現、より利便性の高い市民サービスの提供、市民間の豊かな情報交流を目指す。総務省が示した「自治体情報システム強靱性向上モデル」（情報セキュリティインシデントに対する即応体制の強化やサイバー攻撃に強いシステム全体の強靱性向上）を踏まえた更なる情報セキュリティの強化を図るとともに職員研修やサイバー攻撃に対する訓練等の実施により職員の情報セキュリティ意識を高め、対応力向上を図る。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内部情報システム及び財務会計システムの更新・地域情報化推進協議会等の開催・地域BWA（広帯域移動無線アクセス）システムを活用した実証事業の実施・都区市町村情報セキュリティクラウドへの接続・インターネット接続環境の分離・マイナンバー利用事務における二要素認証の適切な運用・情報セキュリティに関する職員研修や訓練等の実施</li> </ul>																										
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月															
	事業の成果（目標）	<p>内部情報システム及び財務会計システムの構築運用、地域情報化推進協議会（3回）及び地域情報化プラン推進会議（1回）の開催、地域BWA（広帯域移動無線アクセス）システムを活用した実証事業の実施、都区市町村情報セキュリティクラウドへの接続（6/24）、インターネット接続環境の分離、マイナンバー利用事務における二要素認証の適切な運用、標的型攻撃メール訓練（2回）での開封率0%</p>																										
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>第1回地域情報化推進協議会を開催し、地域情報化プラン2022に基づいた本年度の主要な取り組みについて確認した。総務省が示す「自治体情報システム強靱性向上モデル」を踏まえ、二要素認証の適切な運用、都区市町村情報セキュリティクラウドへの接続、インターネット接続環境の分離を実施し、情報セキュリティの更なる強化を図った。内部情報システム及び財務会計システムの更改に向けて、システムの構築を進めるとともに、スムーズな導入を図るため、職員向け操作研修を実施した。</p>																										
	事業評価審査会特記意見											政策会議評価・意見等	重点事業とする。															
	主管課評価	1	事業評価審査会評価 1										1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする															
事後評価	実績	<p>内部情報、財務会計システムの更新及び運用・地域情報化推進協議会（3回）及び地域情報化プラン推進会議（1回）の開催・地域BWAシステム基地局設置・情報セキュリティクラウド接続、インターネット接続環境分離及び運用・マイナンバー利用事務における二要素認証の適切な運用・情報セキュリティに関する職員研修等の実施</p>																										
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月															
	事業の成果（実績）	<p>内部情報システム・財務会計システムの構築及び運用開始（10月）、地域情報化推進協議会（6/12、11/16、3/20）及び地域情報化プラン推進会議（11/15）の開催、地域BWAシステム基地局の設置、情報セキュリティクラウドへの接続・インターネット接続環境の分離及び運用開始（7月）、マイナンバー利用事務における二要素認証の適切な運用、情報セキュリティセルフチェックの実施（3月）</p>																										
	事業の総括（主管課）	<p>「三鷹市地域情報化プラン2022（第1次改定）」に基づき、ICT環境の整備と利活用を推進するため、地域情報化推進協議会及び地域情報化プラン推進会議を開催した。総務省が示す「自治体情報システム強靱性向上モデル」に基づき、各情報セキュリティシステムを構築し、適切な運用を図るとともに、内部情報・財務会計システムの更新により、職員の事務の効率化、利便性の向上に努めた。地域BWAシステムについては、基地局設置が一部完了したことから、次年度以降に実証事業を進めていく。</p>																										
	事業評価審査会評価・意見等											<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">予算執行</td> <td colspan="2">29年度当初</td> <td colspan="2">29年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>957,812千円</td> <td>決算額</td> <td>956,105千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td></td> <td>執行率（%）</td> <td>94.4%</td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	予算執行	29年度当初		29年度実績		予算額	957,812千円	決算額	956,105千円	決算額		執行率（%）	94.4%	執行率（%）		
予算執行	29年度当初		29年度実績																									
	予算額	957,812千円	決算額	956,105千円																								
	決算額		執行率（%）	94.4%																								
	執行率（%）																											
主管課評価	1	事業評価審査会評価 1										S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		三鷹ネットワーク大学の機能強化に向けた民学産公の連携の推進										個別事業掲載No	企 — 7
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構との協働により、「三鷹まちづくり総合研究所」や「三鷹の森 科学文化祭」などの取り組みを推進する。平成28年度に実施した「みたか都市創造サロン」における成果等を踏まえ、緊密な連携を図りながら、新たな政策課題に関する研究に取り組む。</p> <p>また、三鷹ネットワーク大学推進機構と連携し正会員・賛助会員との関係の充実に努め、民学産公の取り組みによる地域活性化や人材育成に取り組むほか、三鷹市スポーツと文化財団と連携し三鷹中央防災公園・元気創造プラザを拠点とした講座の開催など、三鷹ネットワーク大学の特徴を生かした事業展開を支援する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座等（200件程度）の実施（申込者数のべ14,196人※、受講者満足度87.2%※）</li> <li>・「みたか太陽系ウォーク」（参加人数3,379人※、満足度94%※）</li> </ul> <p>※数値はいずれも平成28年度実績値</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		○みたか太陽系ウォーク											
事業の成果（目標）	<p>民学産公の取り組みによる地域活性化や人材育成、三鷹市スポーツと文化財団との連携など、三鷹ネットワーク大学の特徴を生かした事業展開の支援などにより、講座内容の充実を図ることで、新規受講登録者数900人及び満足度90%をめざす。また、みたか太陽系ウォークの満足度95%をめざす。</p>												
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>三鷹市スポーツと文化財団等と連携し、発達支援等に関する講座を開催した。協働研究事業については、5～6月に募集・選考を行い、7団体を採択した。みたか太陽系ウォークについては、惑星スタンプが増え、全体として平成28年度より規模が拡大している。三鷹まちづくり総合研究所については、三鷹ネットワーク大学推進機構と連携し、庁舎等建替えに向けた基本的な枠組みに関する研究会の最終報告書を作成した。</p>											
	事業評価審査会特記意見	<p>政策会議 評価・意見等</p> <p>推進事業とする。</p>											
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								
事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座等を233件実施、申込者数のべ13,525人、受講者満足度86.7%</li> <li>・みたか太陽系ウォークの参加人数3,256人、満足度91%</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		○みたか太陽系ウォーク											
		○講座等の実施											
	事業の成果（実績）	<p>三鷹ネットワーク大学の特徴を生かした事業の展開などにより講座内容の充実を図ったところ、新規受講登録者数792人及び満足度86.7%となった。みたか太陽系ウォークについては、様々な団体との連携に取組んだ結果、満足度91%となった。</p>											
事業の総括（主管課）	<p>正会員・賛助会員等との連携を図り、233件の講座等を実施し、講座申込者数のべ13,525人、新規受講登録者数792人、受講者満足度86.7%となるなど、概ね目標を達成することができた。引き続き、市民ニーズ等を踏まえた新規講座の実施に向けた取り組みを進める。みたか太陽系ウォークについては、関連商品の開発支援を行うとともに、SNSの積極的な活用や市内外のイベントとの連携を図った。週末の天候不良により、参加者数は前年度から微減の3,256人（▲123人）となったが、満足度は91%となった。</p> <p>平成29年6月に、鈴木典比古氏（国際教養大学理事長・学長）が新理事長に就任したことから、特別講演及び市長対談を行った。11月に、海上・港湾・航空技術研究所が正会員となったことを記念して、連続講座を開催した。その他、「2025年問題」に関するこれまでの取組を踏まえつつ、超高齢社会に向けた三鷹市の地域力の向上に資する研究を進めた。</p>												
事業評価審査会評価・意見等	<p>「民学産公」の連携の一層の深化を図り、引き続き人材育成や地域課題の解決に向けた取組みを推進することが望ましい。</p>												
予算執行					29年度当初				29年度実績				
					73,836千円				73,836千円				
									64,706千円				
									87.6%				
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									



平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		市政への共感と信頼に基づく寄付文化の醸成										個別事業 掲載No	企 — 8	
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 ふるさと納税制度による市民税の大幅な減収が顕在化していることから、三鷹市の風土にあった寄付文化の醸成を図る。新たに、クレジットカード決済開始による利便性の向上に取り組むとともに、返礼品がなくても三鷹市の事業に共感していただける方などから広く寄付を募るため、市ホームページ上での特設サイト開設や、魅力ある寄付メニューの創設などにより、積極的なPRを行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな寄付メニューの創設2項目以上</li> <li>個人による寄附件数22件以上（過去3年度：平成26年度21件、27年度19件、28年度6件）</li> </ul>												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		<p>○クレジットカード決済導入</p> <p>○市HP上に特設サイト開設</p> <p>← 新たな寄付メニューの検討 →</p>												
	事業の成果（目標）	返礼品の魅力でなく、三鷹市の施策や事業などへ賛同される方から寄付を募る仕組みを構築することで、本来のふるさと納税制度の目的に合致した寄付文化の醸成をめざす。												
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>4月3日から、新たにクレジットカード決済による寄付の募集を開始し、利便性の向上を図った。また、市ホームページ特設サイトを開設し、市の事業に共感し寄付をいただけるよう積極的なPRを実施した。</p> <p>一方、ふるさと納税制度の普及による市個人住民税の減収額は、昨年度よりも大きくなっていることから、次のとおり更なる寄附を募る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①三鷹市ホームページ内の特設サイトのリニューアル（特設サイトにはTwitterやFacebookへの情報拡散が可能なソーシャルボタンを導入）</li> <li>②民間のふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」への登録</li> <li>③「ふるさとチョイス」を活用したクラウドファンディングの実施</li> </ol>												
	事業評価審査会特記意見		政策会議 評価・意見等	重点事業とする。										
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする									
事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな寄付メニューの創設 ①新庁舎等の整備（4/3～）②山本有三記念館の改修工事（12/1～2/28）</li> <li>市HPふるさと納税特設サイトの開設及びインターネット申込とクレジットカード決済による受付開始（4/3～）</li> <li>ふるさと納税特設サイトのリニューアル及びふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」への登録（11/29）</li> <li>山本有三記念館の改修工事業へのクラウドファンディングの実施（12/1～2/28）</li> <li>平成29年度 個人からの寄附件数 144件（19,169,318円）</li> </ul>												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		<p>○クレジットカード決済導入</p> <p>○市HP上に特設サイト開設</p> <p>○補正予算</p> <p>○「ふるさとチョイス」への登録・活用</p> <p>○市HP上の特設サイトのリニューアル</p> <p>クラウドファンディングの実施</p> <p>← →</p>												
	事業の成果（実績）	新たな寄付メニューを創設し、クラウドファンディングを実施するとともに、市HP・広報みたかなどによる市の魅力ある事業の積極的なPRにより、本来のふるさと納税制度の目的に合致した寄付文化を醸成した。												
	事業の総括（主管課）	<p>市HPにおけるふるさと納税特設サイトの開設・リニューアル及び民間のふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」を活用し、新たに創設した寄付メニューを含めた三鷹市の魅力ある事業について、積極的に全国へPRを行った。また、寄付のインターネットでの申込とクレジットカード決済での受付開始により、寄付者の利便性の向上が図られたことから、広く市内外から寄付を募ることができ、前年度を大きく上回る寄付を募ることができた。</p> <p>山本有三記念館の改修工事で新たに実施したクラウドファンディングについても、当初目標としていた300万円を大きく上回る500万円以上の寄付を募ることができ、大きな成果を挙げることができた。</p> <p>平成30年度は、29年度に実施したクラウドファンディングの検証と新たな寄付メニューの創設を検討するとともに、引き続き市の魅力ある事業のPRに努めながら、返礼品についても検討を進めていく。</p>												
事業評価審査会評価・意見等		予算執行		29年度当初				29年度実績						
				予算額	51千円				1,863千円					
				決算額					1,045千円					
				執行率（%）					56.1%					
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）										

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		社会保障・税番号制度への対応										個別事業掲載No	企	—	9																																																											
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>平成29年7月より開始予定の他市区町村等との情報連携に向けたテスト及びシステムの整備、独自利用事務に係る規定等の整備及び国の個人情報保護委員会への届出、特定個人情報保護評価（PIA）の適正な運用のための研修や内部監査の実施と評価書の見直しを行う。また、市民及び事業者に対し、マイナンバーカードの普及やマイナポータル周知・広報活動を図る。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報連携に係るテスト及びシステムの整備</li> <li>・制度に関する周知・広報活動、特定個人情報保護評価の適切な運用</li> <li>・新たなサービス（マイナポータル、子育てワンストップサービス）導入に向けた庁内調整及びシステム整備</li> </ul>																																																																								
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																													
	事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報連携に係るテスト（4月～6月）及びシステムの整備</li> <li>・制度に関する周知・広報活動（市広報紙、CATV）</li> <li>・特定個人情報保護評価の適正な運用（研修、自己点検、内部監査、評価の再実施、評価書の見直し）</li> <li>・新たなサービス（マイナポータル、子育てワンストップサービス）導入に向けた庁内調整及びシステム整備</li> </ul>																																																																								
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>平成29年7月の情報連携の試行運用開始に向け、副本データの最終登録、DV等支援措置対象者の保護措置対応、教育委員会向け中間サーバーの構築及び中間サーバー接続端末の操作研修・端末設置を行った。特定個人情報保護評価（PIA）の運用に関しては、7月から8月にかけて、該当部署の職員に対して、情報セキュリティの基礎となる情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）やPIAの基礎研修及び内部監査研修を実施した。また、マイナポータルを活用した子育てワンストップサービスのサービス登録及び利用開始に向けた庁内調整を図った。</p>																																																																								
	事業評価審査会特記意見											政策会議評価・意見等	推進事業とする。																																																													
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする																																																																				
事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報連携、子育てワンストップサービス（電子申請サービス）の開始に向けたシステム整備</li> <li>・特定個人情報保護、PIAの適切な運用に向けた職員研修及び内部監査等の実施</li> <li>・マイナポータル及び情報連携の開始や制度に関する継続的な周知・広報活動の実施</li> </ul>																																																																								
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																													
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報連携の開始に向けたシステムの整備、標準レイアウト改版に伴うシステム改修（4月～3月）</li> <li>・独自利用事務の情報連携利用に向けた個人情報保護委員会への届出（8月、12月、2月）</li> <li>・特定個人情報保護評価の適切な運用及び庁内調整（基礎研修、内部監査研修、自己点検、内部監査）</li> <li>・制度に関する周知・広報活動（市広報紙3回（7、9、11月）、CATV2回（10、12月））</li> <li>・子育てワンストップサービスの利用開始に向けたシステム整備（5月～3月）</li> </ul>																																																																								
	事業の総括（主管課）	<p>情報提供ネットワークシステムを介した情報連携の開始に向け、符号取得及び中間サーバーへの副本登録等のシステム整備を図り、平成29年11月より情報連携を開始した。マイナポータルを活用した子育てワンストップサービスについて、庁内の関係部署との協議・調整及びサービス開始に向けたシステム整備を図った。特定個人情報保護評価の適切な運用を図るため、評価対象部署の職員に対しての研修、自己点検及び内部監査を実施し、特定個人情報の安全管理措置やリスク対策の周知・徹底を図った。また、制度に関して市民等に向けた広報活動を行うとともに、マイナンバーカードの交付手続きや情報連携及びマイナポータルの開始に関しての周知を図った。</p>																																																																								
	事業評価審査会評価・意見等											予算執行	29年度当初		29年度実績																																																											
																																																												主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									
																																													主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																								
																														主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																																							
															主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																																																						
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																																																																					

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		男女平等参画及び平和施策の更なる推進										個別事業 掲載No	企 — 10
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 男女平等参画講座や「こころの相談」など各種男女平等参画推進事業を実施する。女性センター機能の充実については、親子料理教室（仮称）の実施など生涯学習センターとの連携、女性交流室などの利用促進を図る。平和施策については、平和強調月間での事業実施に加え、戦争体験談等のアーカイブ化事業を推進し、「みたかデジタル平和資料館」により広く市民等に公開するなどの啓発事業に取り組む。</p> <p>【事業量】 ・男女平等参画審議会の開催 ・男女平等参画講座等の開催 ・男女平等参画啓発誌「Shall we?」の発行（年2回） ・平和のつどいの開催 ・空襲資料展等の開催 ・戦争体験談等アーカイブ化実施 ・デジタル平和資料館の充実</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<p>○男女パネル展 啓発誌発行○ ○男女平等参画講座 ○LWB協働講座 啓発誌発行○ 審議会○ 親子料理教室○ ○平和首長会議 審議会○ 親子料理教室○ 親子料理教室○ 資料館更新○ ○平和のつどい カレンダー作成○ 資料館更新○ 東京空襲展○ 世界連邦三鷹支部総会○ ○世界連邦全国総会 平和の絵展○ ○資料館更新 戦跡FW講座○</p> <p>・男女平等参画講座等の参加者数 延べ200人 ・男女共同参画週間パネル展の開催 ・男女平等参画啓発誌の発行（年2回） ・「こころの相談」利用者数増加 ・平和推進関連事業の参加者数 延べ3,600人 ・戦争体験談等アーカイブ化の推進 ・みたかデジタル平和資料館掲載コンテンツの充実</p>											
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>男女平等参画事業は、男女共同参画週間パネル展、パパッと親子料理教室（2回）、新誌名の男女平等啓発誌を発行したほか、カウンセラー会議、DV防止のための庁内連絡会議、三鷹市男女平等参画審議会等を開催し、平成28年度の取り組み状況の確認やDV防止に関する情報共有などを行った。「こころの相談ダイヤル」については、PR等により利用促進を図る。 平和事業は、デジタル平和資料館コンテンツの追加等による情報発信、平和のつどい等、次の世代に平和の思いを継承するため、若い世代の事業参加を促す工夫を実施した。</p>											
	事業評価審査会特記意見											政策会議 評価・意見等	推進事業とする。
	主管課評価	1	事業評価審査会評価										1
事後評価	実績	<p>・男女平等参画審議会の開催（2回）・男女平等参画のためのみたか市民フォーラム（2/24）、男女平等参画講座（2/27・28）、ライフ・ワーク・バランス推進のための市民協働講座（3/4）・男女平等参画啓発誌「Shall we?」の発行（年2回）・平和のつどい（8/15）・東京空襲資料展（3/6～16）、三鷹市内の戦跡を訪ねるフィールドワーク講座（3/18）・戦争体験談等アーカイブ化（10人）・デジタル平和資料館（年間アクセス数29,398件）</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（実績）	<p>・男女平等参画講座等の参加者数（延べ272人） ・男女共同参画週間パネル展の開催（320人） ・男女平等参画啓発誌の発行（年2回） ・「こころの相談」利用者数（相談室289件、ダイヤル20件）（平成28年度実績318件） ・平和推進関連事業の参加者数（延べ3,028人） ・戦争体験談等アーカイブ化の推進（10人） ・みたかデジタル平和資料館掲載コンテンツの充実（更新3回）</p>											
	事業の総括（主管課）	<p>「男女平等参画のための三鷹市行動計画2022（第1次改定）」に基づき、男女平等参画社会の実現に向けて各種啓発事業を例年どおり実施した。男女平等参画講座については、全2回のうち1回について同計画において検討することとしていた「多様な性の理解と差別防止に関する講座等の実施」として「子どもと学校にとつてのLGBT（Q）」と題して実施した。また、新たに「パパッと親子料理教室（全3回）」を開催し、父親の家事・育児への参加を促進した。さらには、男女平等参画啓発誌名を「Shall we?」に改め、読者層の拡大に努めた。 平和施策の推進については、8月の平和強調月間及び3月の東京都平和の日を中心とした平和関連事業を実施することで戦争の記憶と平和への願いを次世代へ継承することに努めた。例年作成している平和カレンダーについては、30作品目に当たったことから、過去の表紙作品を展示に加えた「平和の絵展」や入選作品の表彰式を行うなどして若い世代の平和意識の醸成を図った。また、みたかデジタル平和資料館掲載コンテンツの充実を図るため、戦争体験談のアーカイブ化を推進した。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等					予算執行	29年度当初		29年度実績				
主管課評価	1	事業評価審査会評価										1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）
						予算額	32,941千円		33,819千円				
						決算額			30,678千円				
						執行率（%）			90.7%				



平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	外国人を含む観光客の満足度向上に向けた自治体間連携の推進	個別事業掲載No	企 — 11
-----	------------------------------	----------	--------

当初計画	【事業概要】 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、外国人を含む観光客のさらなる増加が見込まれることから、近隣市と連携し、観光客のニーズや現状の課題などを調査し、その結果を踏まえ、飲食店等事業者に対して観光客受け入れ態勢の充実に向けた支援に取り組む。実施にあたっては、東京都市長会の多摩・島しょ広域連携活動事業助成金（補助率10/10）を活用する。 これにより、地域全体で満足度の高いサービスを持続的に提供できる環境を整備することで、まちの魅力の発信力強化をめざす。
	【事業量】 ・両市における共通課題の検討 ・観光客のニーズ等に関する現状調査の実施と分析 ・調査結果を踏まえた実証事業の実施 ・検討会議の開催（4回程度） ・報告書の作成
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○市長会助成金申請 ○共通課題の検討 → ○現状調査 → ○実証事業 → ○報告書作成 ○検討会議 ○検討会議 ○検討会議 ○検討会議
事業の成果（目標）	外国人を含む観光客のニーズや現状の課題を幅広く調査し、個々の事業者が把握しにくい情報を提供するとともに、課題解決に向けた取り組みを支援することで、地域全体で満足度の高いサービスを持続的に提供できる環境が整備される。

中間評価	上半期の実績・課題等	市長会助成金の交付決定を受け、専門的な知見を有する事業者を選定し共通課題の検討及び現状調査等に着手するとともに、第1回目の検討会議を開催した。下半期は引き続き、調査結果の集計と、結果に基づく実証事業を実施する。		
	事業評価審査会特記意見	政策会議評価・意見等		
	主管課評価	3	事業評価審査会評価	3

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流事業の広域連携検討会を開催（8/29・11/6） ・観光資源に関する市場調査・現状分析の実施</li> <li>飲食店向け外国人旅行者受入れに向けたセミナーの開催（参加者延5人）</li> <li>地元大学生と連携した「EAT東京」登録支援（19店舗、大学生10名）</li> <li>ご当地パンフレットの作成（10,000部）</li> <li>訪日観光客向け情報発信サイト「Japan Travel.com」と連携した情報発信</li> </ul>		
	スケジュール	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	○市長会助成金申請 ○プロポーザル・業者選定 ← 調査・分析 → ○広域連携検討会 ○広域連携検討会 大学生による店舗支援 → ○セミナー開催（3回） → ○報告書作成 ジャパントラベルで情報発信 レット発行 市長会助成金実績申請	
	事業の成果（実績）	観光資源の実態や市場ニーズの把握のためにインターネット調査（日本人向け）と現地聞き取り調査（外国人対象）を実施した。調査結果を基にしたモデル事業を実施し、観光環境の整備と情報発信に取り組んだ。モデル事業では、飲食店向けのセミナーを開催し、効果的な宣伝方法やおもてなしの取組み事例の紹介等を行った。 また、杏林大学・亜細亜大学・成蹊大学の学生による飲食店のメニュー多言語化（「EAT東京」への登録）支援を実施した。 さらに、地域の観光情報の発信として、ご当地パンフレットを作成し、都内の宿泊施設14か所やJR三鷹駅構内等への配置を行ったほか、訪日観光客向け情報発信サイトの最大手である「Japan Travel.com」に紹介記事を掲載し、1月末時点で2,353回のアクセスがあった。		
	事業の総括（主管課）	三鷹市及び武蔵野市等の観光について、インターネット調査（日本人向け）と現地聞き取り調査（外国人対象）を実施し、観光客の認知度は低いが関心度の高い観光資源の効果的な周知や、外国人観光客の関心が集中する「食」というコンテンツの活用等、今後の取組に資する観光資源の実態や市場ニーズの把握ができた。 また、両市内飲食店を対象にしたセミナーでは、調査結果を踏まえた誘客のポイントについて情報提供を行った。一方、今回のモデル事業の主なターゲットである飲食店は、各店舗において観光客対応への意識の差が大きく、課題認識の共有及び気運醸成に課題が残った。今後は、各店舗・事業所の状況に応じた誘客支援を行い、2020年東京オリンピック・パラリンピック等の開催に伴う本格的な観光需要に対応し得る、広域連携による観光環境整備につなげる。		
	事業評価審査会評価・意見等	予算執行	29年度当初	29年度実績
		予算額	4,968千円	4,968千円
		決算額		4,968千円
		執行率（%）		100.0%
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）



平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		オープンデータ・ビッグデータの提供と利活用に向けた検討										個別事業 掲載No	企 — 12	
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>行政の透明性・信頼性の向上、「民学産公」の協働の推進、地域経済の活性化をはじめとする地域課題の解決を目的として、市が保有する多様な情報を二次利用が可能なデータとして公開する「オープンデータ」を計画的に推進する。市が保有する行政情報のオープンデータ化の取り組み方針を策定し、順次データの公開を進める。また、公開するデータの種類や提供方法の拡大など、効果的な運用方法の検討を行うとともに、オープンデータの推進に関する全庁的な理解や意識啓発を図るため、職員向けの説明会を実施する。なお、「ビッグデータ」の利活用については、技術動向の把握に努め、国が提供するRESAS（リーサス）等を用いて地域分析や政策提案の検討を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オープンデータ化に向けた取り組み方針の策定</li> <li>オープンデータ・ビッグデータの利活用に向けた検討</li> <li>データ提供ページの開設（初期掲載データ 約200件程度）</li> <li>職員説明会の実施（各課1～2名程度）</li> </ul>												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	事業の成果（目標）	<p>市が保有する情報のオープンデータ化に向けた取り組み方針を策定するとともに、市ホームページ上にデータ提供ページを開設（初期掲載データ 約200件程度）する。また、職員向けの説明会を実施し、オープンデータに対する全庁的な理解や意識啓発を図る。</p>												
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>オープンデータの推進の目的や基本原則等を定めた「取り組み方針（案）」の作成に着手するとともに、庁内の推進体制や各課の役割、優先的に提供するデータの選定、データの提供方法等、具体的な運用方法について検討した。また、市民部や子ども政策部などの庁内の主要なデータ所管課を含む全庁的な理解を図るため、平成28年度オープンデータの研究を行った東京市町村自治調査会を招いて、勉強会を開催した。</p>												
	事業評価審査会特記意見	ビッグデータの利活用については、RESASの活用を中心に検討を進め、政策形成に活かす取り組みを重点的に進めること。				政策会議 評価・意見等				重点事業とする。 市政情報の公開について、可能なものから速やかに公開を進め、オープンデータ化に着手すること。				
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								
事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京市町村自治調査会出張フォーラム開催</li> <li>オープンデータ運用手順書の策定</li> <li>データ提供ページ（カタログページ）開設</li> <li>オープンデータ取組方針の策定</li> <li>オープンデータ導入に係る職員説明会の実施</li> <li>統計等データの活用による政策形成に向けた研修会の実施</li> </ul>												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンデータ公開（平成30年2月19日公開開始） 公開件数：公共施設の位置情報 452件、地勢、人口等の統計情報 23項目、283データ 閲覧数（2/19～3/31）：公共施設の位置情報184件、みたかの統計806件（人口94件、市職員88件等）</li> <li>統計等データの活用による政策形成に向けた研修会 部課長職向け講習会（1月23日、受講者23人） グループ演習（2月7日～3月28日、受講者15人）</li> </ul>												
	事業の総括（主管課）	<p>国の計画等と整合を図り、地域情報化推進協議会等から意見聴取しながら「三鷹市オープンデータの推進に関する取組方針」を策定した。オープンデータの公開に際しては、庁内において管理運用会議を設置し、公開データの適正性等の確認を行ったほか、東京都カタログサイトとも連携し、オープンデータの利用促進を図った。</p> <p>データ活用の研修会については、基本計画の改定を踏まえ、継続的な取り組みとして実施する。</p>												
	事業評価審査会評価・意見等			予算執行		29年度当初			29年度実績					
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上			1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）						